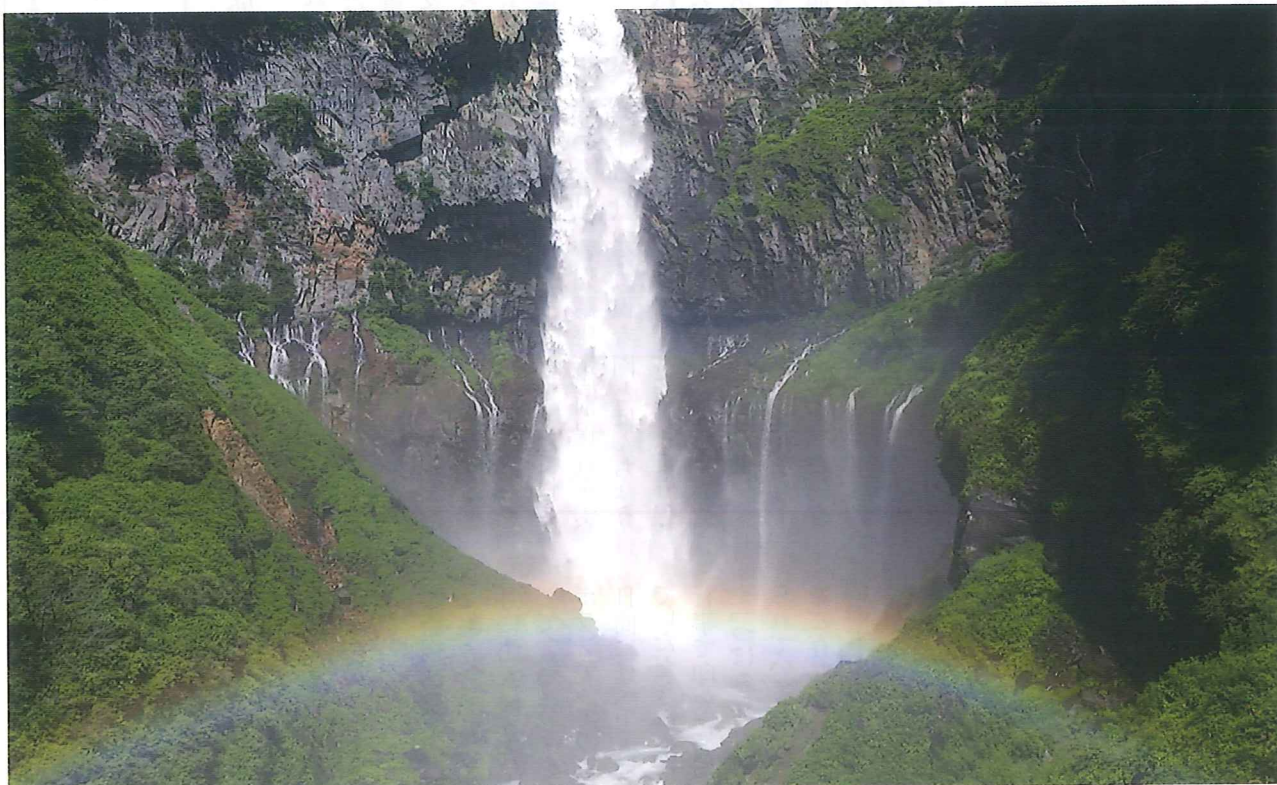




社会福祉法人 村 山 苑

村山苑だより



「社会福祉法人の役割」

理事 手塚 真一



社会福祉法人、事業を取り巻く環境が大きく変化しています。介護保険導入以降、在宅サービスなどの分野で、株式会社やNPO法人が参入し、社会福祉法人と競合しています。社会福祉法人は、補助金や法人税の原則非課税など財政上の優遇措置を受けており、既存の福祉サービスだけでなく、地域の生活困窮者支援など、社会に貢献することにより、その存在意義を明らかにしていかなければなりません。

社会福祉法人の在り方等に関する検討会では、その報告案として、法人経営の透明性を確保するために、財務諸表や補助金等の情報開示を義務付けることや、法人が事業活動で蓄えたお金を活用し、生活困窮者支援など、既存の福祉制度では対応できない公益的な活動を義務付けること等を提言しています。

社会福祉法人に対する見方は大変厳しくなっており、最近、批判的な新聞記事をよく目にします。法人の理事者が関係する企業と不透明な取引をしているというものや、法人そのものを金銭で売買するなど私物化しているというものです。多くの法人では、まじめに福祉を担い、健全な経営をしています。このような新聞記事を見ると、読者はどのように感じるでしょうか。

大阪府を始めとして、各都道府県ごとに社会貢献事業に取り組み始め、東京都でも社会福祉協議会を中心として、社会貢献事業推進委員会が立ち上がりました。村山苑としても生活困窮者のための総合相談事業に取り組み始めました。社会福祉法人に対する見方が厳しくなっているから、ということではなく、すべての社会福祉法人が、当たり前のこととして社会貢献活動に取り組んで行かなければなりません。法人としてどんなことができるのか、職員と一緒に考えていきたいと思えます。

理事に就任して

理事 相原 弘子

今年三月の評議員会で選任され、社会福祉法人村山苑の理事に就任いたしました。平成二十三年六月より事務局長として本部の業務に関わり、各事業種における法律や体系の改正などから、今「社会福祉法人に求められているもの」の大きさをひしひしと感じています。

■平成二十五年「会計報告」について

決算理事会を終え一区切りついたところで、昨年度の決算と事業報告の概略について述べておきたいと思えます。決算について、村山苑は、平成二十四年度に新会計基準に移行し二度目の決算を終えました。新会計では本部拠点を含め九つの拠点区分をもつ社会福祉事業区分の体系になります。法人全体が把握できるので、どのような事業を行っているか解りやすくなっています。平成二十三年に開所した「ほんちようケアセンター」と「ほんちよう保育園」は三年を経てようやく軌道に乗りました。殊に「ほんちようケアセンター」では、開設当時に目標としていた

三年後の黒字化が達成できました。決算分析で、村山苑は都内にある複数事業を経営する社会福祉法人の平均とほぼ近似値になっています。保育事業、障害福祉サービス事業、生活保護事業においては、平成二十四年度並みの安定した実績を報告することができました。

■平成二十五年「事業報告」について

実績報告について、保育事業は三園ともに待機児童の解消に協力するとして、定員枠以上の児童の受け入れを実施いたしました。また、子育て情報誌の発行や育児講座、出前保育を実施する外、つばみ保育園とほんちよう保育園では子育てひろばを実施して、地域での子育て支援を応援しました。福祉事業センターの就労継続支援B型では、利用者の月額平均工賃が四万円を超え、就労移行支援において十名の利用者が一般就労し、実績を残すことができました。生活保護事業である介護施設では、利用者の高齢化はあるもののセーフティネット機能を強化して循環型施設としての役割を果たすために、利用者の自立支援に向け、積極的存在である介護保険事業においては、都内介護施設に比べ、前年度同様、入所率の低さと人件費率がまだまだ

高い状況にあり、収益が上がらない状況でした。通所介護では定員二十五名のところ、月平均十三七名の利用で稼働率が予定を下回り、収入が低くなっています。平成二十七年度に介護報酬の改定が予定されていますが、増額改定は見込めず、特養本体はもとより、介護各事業の稼働率の押し上げが、収入増の鍵となります。

■新規事業について

平成二十五年度を振り返ると、六月に法人創立六十周年の記念行事として『絵画展』を行いました。役員やボランティアの皆様の協力により、三日間に延べ千人近い地域の方々にお出でいただき盛況に終わりました。この行事で印象に残ったのは、「ハトホーム」や「つばみ保育園」という施設名は知られていても「社会福祉法人村山苑」をご存じない方や、長く近隣にお住まいの方からも「この場所にこうした施設があることを知らなかった」とお聞きし、改めて「社会福祉法人村山苑」の認知度が低いことを知ったことです。そうした中、十二月に地域の生活困窮者支援事業として「むらやまえん生活相談所」を開設しました。村山苑は、生活保護法による介護施設を二事業所経営しており、以前から理事長はじめ介護施設職員が地域で生活する生活困窮者に対し、施設機

能が利用できないものかと模索していたところでもあり、また、この東村山市の地域に向けた貢献事業として始めたものです。年度内はいろいろな地域の集まりに出席しながら、関係機関との連携を図ることを視野に「相談所」の広報活動をしてきました。その結果、新年度に入つて以降、これまでに二十件ほどの相談件数があり、関連の制度に繋がったり現物給付による給付等を実施しています。住み慣れた地域の中でその人らしい自立した生活を継続できるよう支援するコミュニティソーシャルワークの精神で、行政・市社協・地域包括支援センターの方々と連携を密に行っているところです。

■期待される「社会福祉法人」

今、社会福祉法人は、地域の中で如何にして地域に貢献するかが問われ、また期待もされています。元を糺せば、地域の中で困っている人々に真っ先に手を差し伸べてきたのは「社会福祉法人」です。この事実を改めて再認識し、施設の経営に万全を期すこともとより、社会福祉制度のセーフティネットとして積極的に機能していくことが重要です。昨年度の「村山苑」の取組みをより充実させることができるよう、役員一人として努力したいと思います。

平成25年度事業報告について

平成26年5月27日開催された理事会・評議員会において、「平成25年度事業報告」並びに「平成25年度決算報告」は、下記のとおり議決されましたのでお知らせいたします。

なお、本苑の事業報告書・決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを紙上掲載いたします。法人事務局に「平成25年度事業報告書・決算書」がございますので、詳細をお知りになりたい方は、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。また、ホームページ上でも公表しております。

平成25年度 事業報告

現政権は、着任以来、大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略を「3本の矢」とする経済政策を掲げ、低迷する経済の復活に向けて懸命な努力をしている。その結果、徐々にではあるが、経済状況は上向きの傾向にある。社会福祉関係の平成25年度を振り返ると、社会福祉法人・施設は、社会から非常に厳しい目を向けられた。原因の本質は、社会福祉法人と他の事業体(NPOや株式会社等)との競争条件の同一化である。政府の規制改革会議では、社会福祉法人に対し、社会貢献を罰則付きで義務付けるとの議論がなされ、また、厚生労働省の社会福祉法人の在り方に関する検討会では、社会福祉法人の優遇措置に見合う社会貢献事業等について活発な議論が進められた。今後の議論の推移に注目したい。村山苑は介護保険制度、障害者総合福祉制度、生活保護制度及び保育所関係制度などの厳しい状況変化の中で、その基本理念を堅持しつつ、理事者、職員が一体となって経営努力に励むことにより、一定の成果を上げることができた。

1. 法人の課題と体制整備について

今年度の計画で、法人の社会貢献事業として地域で生活する「生活困窮者支援事業」の具体的な取り組み方法の検討を挙げた。施設長会議等で検討を重ね、研修会等も開催し、11月の理事会に事業の具体案を提案して承認を得、12月から「むらやまえん 生活相談所」を開設することができた。また、村山苑の給与体系の見直し(給与制度の再構築)は、平成25・26年度で原案をまとめて職員に提示し、理解を得る努力をしたうえで、平成27年度から実施する計画である。今年度はその初年度に当たり、コンサルタント会社との間で計画した給与制度の骨格や、職員とのヒアリング等を順調に進めることができた。その他、職員研修やメンタルヘルスケアについては、研修内容の充実、相談医療機関の指定、嘱託医の選任及び規程の整備等について努力し、職員の資質の向上、長期休職者の職場復帰につなげることができた。

2. 介護保険事業について

平成24年4月、介護保険制度及び介護報酬の改正が行われた。この制度改正では、国の今後の高齢者施策の方向性が示されている。例えて挙げれば、高齢者の生活を地域が担う地域包括支援システムの構築であり、また、要介護者の在宅生活の継続に対する支援体制の強化や個別支援への移行等である。介護報酬の改正は、全体では増額改正となっているが、介護職員処遇改善交付金が介護報酬に取り込まれ、また、従来型の多床室施設の報酬も減額となって、実質的には減額改正である。この改正により、特養事業(ハトホーム)全体の収入減額は1年間で2千万円を超える。平成25年度は、このような厳しい状況の中で、収支バランスを崩壊させることなく次の年度に引き継ぎ、将来的な事業安定を目標にして、新規加算の取得や入所率及び利用率の改善、経費の節減、適正な人員配置による人件費の節減等を事業計画に盛り込み、職員会議等で周知を図り取り組んだ。

ほんちようケアセンターは、利用者の安心・安全の確保、安定した財政基盤の確保及び職員の自己研鑽を目標にして努力した。

結果として、特養(ハトホーム)は収支バランスの崩壊はかろうじて避けることができたものの、各事業が目標とした数字は達成することができなかった。各事業の実績は、本体事業95.2%(目標:96%)、短期入所生活介護98%(目標:100%)、通所介護事業は開設以来20名/日を目標にしてきたが、今年度は年度前半の利用実績を踏まえ、年度後半に限って実績目標を17名として取り組んだにも拘らず、目標値には遠く及ばず定員の55.2%であった。要因は、本体については利用者退所後の欠員補充の遅滞、短期入所生活介護は定期的利用者の未確保、通所介護は東村山市内における同業者の増加と宣伝不足である。次年度に持ち越した大きな課題は、平成27年度に改正される介護報酬制度に対応した体制作りで、具体的に挙げれば重度者(平成27年度以降、特養への入所要件が要介護3以上の高齢者となる)の受け入れを如何に図るかである。また、各事業の入所率等の目標達成に施設を挙げて工夫を凝らし、努力することである。

ほんちようケアセンターは、開設3年目にして漸く収支の均衡を保つことができ、開設時の目標は達成できた。各事業の利用者数及び決算額も昨年度に比べて相当数伸びている。しかし、介護報酬が減額される中で将来の経営を考えると、利用者数の維持・増加に併せて、経費節減にも努力する必要がある。今後、職員のコスト意識を高めるとともに、各事業本来の役割を見直し、これまで以上に魅力的で質の高いサービスを打ち出すことが必要と考える。

3. 生活保護事業について

昨年12月、生活保護関連法2法が公布された。これに基づき、全ての人が自立した生活を送ることができるよう、新たな生活困窮者自立支援制度の円滑な施行に向けた準備を着実に進めることと、生活保護制度については、不正・不適正受給対策の強化や医療扶助の適正化を図るほか、受給者の自立に向けた就労支援の強化等を示した。生活保護受給者数も依然として高い水準で推移している中、救護施設に求められている利用者への日常・社会生活自立支援や地域生活移行支援に努力し、セーフティネット機能を発揮する施設としてホームレスや矯正施設退所者及び緊急を要する要保護者等の

受け入れ要請に応えるとともに、地域の生活困窮者への支援にも取り組むことができた。「行動指針」が示す循環型の施設としての機能を果たすべく、利用者の地域生活移行支援に努力したが、利用者の高齢化、重度化等により、地域生活への移行が困難な利用者が増えており、現実には厳しい状況にある。引き続き次年度以降への課題としたい。地域生活への移行が難しい利用者に対しては、その人が持つ能力や問題に応じて、日常生活における身体や精神の健康を回復・維持し、自分で健康・生活管理を行うなど、自立した生活を送るための日常生活自立支援や、社会的なつながりを回復・維持できるよう社会生活自立支援を積極的に行った。結果、利用者自身に、自立に対する前向きな姿勢が見られるようになった。

村山荘とさつき荘は、利用者に対する支援として、服薬、通院等への自立支援、入所中の居宅生活訓練事業、地域生活移行後の通所・訪問事業、地域生活が一時的に困難に陥った場合の一時入所事業などに取り組んでいる。また、社会福祉法人の地域貢献として、地域で生活する生活困窮者に対する支援も求められている。昨年12月、法人が開設した「むらやまえん生活相談所」に対して、両施設に配置された精神保健福祉士の加配による相談員と設備や機能を活用する協力体制を築くことができた。年度途中の開始で相談件数は少ないものの、法人全体で生活困窮者支援に取り組むことに意義があり、今後の地域貢献の一步としたい。また、緊急の受け入れ要請についても、積極的な受け入れに心がけた。2月に発生した東京の大雪被害は、檜原村を孤立させ住民の日常生活を奪うほどであった。その際、両施設の連携により、孤立した住人の方を受け入れることができた。

4. 保育事業について

平成27年4月、「子ども・子育て支援新制度」が本格的に施行される。平成25年度は、新制度施行に向けた取り組みが急ピッチに進められた一年であった。内閣府に設置された「子ども・子育て会議、子ども・子育て会議基準検討部会」では、公定価格等の一部の課題を除き、新制度の骨格が明らかになってきている。一方、待機児童解消に向け、子ども・子育て支援新制度の施行を待たずに取り組むこととされた「待機児童解消加速化プラン」では、待機児童の解消に向けての具体的な施策と数値が示されたところである。東村山市においては昨年8月に「地方版子ども・子育て会議」が設置され、「東村山市子ども・子育て支援事業調査票」に基づくニーズ調査が実施され、1月には「東村山市保育施策の推進に関する基本方針」が公表されたところである。平成26年度前半にはその基本方針並びに集計結果を踏まえ、幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援について、市町村が定める区域ごとに、5年間の計画期間における「量の見込み」「確保の内容」「実施時期」等が明記された市町村計画が取りまとめられる予定である。このような大きな制度改革の流れの下で、平成26年度は村山苑の三保育園にとって今後の経営・運営の方向性を決定づける重要な一年となることが想定される。

村山苑の三保育園は保育目標を「たくましく」とし、保育所保育指針に基づき、三保育園の特性を生かしつつ、保育並びに保護者支援を行うことを目標として計画を策定し、平成25年度に臨んだ。運営管理については、東村山市の待機児童解消への協力として、今年度も昨年度に引き続き、三保育園とも定員を上回る園児の受け入れを継続した。また、平成25年度より、東村山市を4地区に分けた地域懇談会が本格的に行われ各園が参加した。懇談会では地域の子育て世代が必要とするニーズや意向を把握し、子育て支援に活用できる情報誌作りに協力した。法人内の共通事項としては、各園に「養育放棄」「虐待」に係る通報もあることから、児童虐待防止の観点から「虐待防止チェックリスト」を作成し取り組みを行った。個別には、つばみ保育園で組織図に基づく職務分掌を明確化するため、今年度より主任を2名体制とした。

5. 障害福祉サービス事業について

障害者支援については、障害者総合支援法及び昨年公布された改正精神保健福祉法、改正障害者雇用促進法の円滑な施行に取り組む、障害者を地域全体で支える仕組み作りと就労支援の充実を図ることが重要とされた。また、根拠法が障害者総合支援法に改正されたものの、事業に関する大きな制度変更はなかった。しかし、障害者や生活困窮者には雇用確保に繋がる支援が叫ばれており、今後も制度改正等の動きに注視しながらの施設経営を覚悟しなければならない状況にある。

利用者状況は、障害種別に拘らず知的、身体、精神、発達障害等の利用者を受け入れ、利用延べ人数16,440人、1日あたり平均利用者数は65.3人であった。また、登録者数については、定員の80名前後を推移している。年間平均は、就労継続支援B型は定員65名を若干超えて65.9名、就労移行支援は定員15名のところ就職による退籍者数の増で13.5人程度となった。就職退籍により利用率も昨年度より幾分低減したが、全体としては81.5%と予測値に近い実績を残すことができた。

福祉事業センターは「働く喜びをすべての人に」という目標の下、平成25年度も就労継続支援B型及び就労移行支援の2事業を、多機能型障害福祉サービスとして昨年度に引き続き提供した。平成25年度方針として、①作業・訓練内容の安定化、②利用者多様性への対応強化、③情報共有体制の推進という3点について重点的に取り組んだ。①については、現行2事業の着実な実施により、各取引先や訓練先との信頼関係を維持することができた。一方で元請企業の組織再編や洗濯場業務の取り組み方など、臨機応変な対応を求められた。②については、利用者への個別対応のための体制を徐々に整えてきたところであるが、多様化が更に顕著となり抜本的な対策が必要となった。③については、フロアミーティングの実施などで情報交換の機会を増やして共有化を図ったが、作業訓練活動に追われる現状の中では、限界があることを認識した。

事業内容は支援実績、運営収支とも、当初計画通り安定した中で年度を終えることができた。しかし、課題として幅広い専門性や内部連携体制の確立、作業売上と業務的負荷のバランスなどが浮き彫りとなり、方向性を熟慮した年度でもあった。また、段階的に導入されているサービス利用計画の対象者拡大は、利用過程における直接的な影響が大きく、相談支援事業所等の地域機関との連携を強化することとなった。

就労継続支援B型の作業売上、支払工賃については、シチズン時計の組織再編により受注関係に不確定な状況が発生して心配したが、他の取引先とは良好な関係を維持し、信頼と実績に基づく関わりができ、昨年と比較して若干下降しているものの、概ね堅調に推移したと思っている。結果としては売上額、工賃支払額ともに一応の目標額を上回り、ある程度の水準を維持することができた。就労移行支援では、支援機関の協力などもあり事業開始以来、最多の10名（前年度末退籍者含む）が一般就労へ移行となった。定着支援の密度・濃度が増大する一方ではあるが、離職率（6ヶ月以内）は2件であった。

村山苑だより

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	855,509,000	855,557,615	△48,615	
	保育事業収入	705,730,000	705,848,032	△118,032	
	就労支援事業収入	39,069,000	39,157,474	△88,474	
	障害福祉サービス等事業収入	147,233,000	146,499,609	733,391	
	生活保護事業収入	672,990,000	676,640,105	△3,650,105	
	医療事業収入	10,371,000	10,110,051	260,949	
	独自事業収入	594,000	597,200	△3,200	
	借入金利息補助金収入	5,036,000	5,032,924	3,076	
	経営経費寄付金収入	5,465,000	5,783,240	△318,240	
	受取利息配当金収入	1,263,000	1,244,502	18,498	
	その他の収入	17,459,000	17,340,070	118,930	
	事業活動収入計(1)		2,460,719,000	2,463,810,822	△3,091,822
支出	人件費支出	1,696,606,000	1,690,186,251	6,419,749	
	事業費支出	337,346,000	331,994,207	5,351,793	
	事務費支出	165,254,000	157,990,966	7,263,034	
	就労支援事業支出	40,749,000	39,086,967	1,662,033	
	社会貢献事業費支出	300,000	0	300,000	
	利用者負担軽減額	411,000	335,555	75,445	
	支払利息支出	5,798,000	5,796,335	1,665	
	その他の支出	12,493,000	12,371,905	121,095	
	事業活動収入計(2)		2,258,957,000	2,237,762,186	21,194,814
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		201,762,000	226,048,636	△24,286,636	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	32,199,000	32,198,750	250	
	施設整備等収入計(4)		32,199,000	32,198,750	250
	支出	設備資金借入金元金償還支出	48,076,000	48,076,000	0
		固定資産取得支出	79,980,000	79,804,561	175,439
		ファイナンス・リース債務の返済支出	864,000	862,212	1,788
施設整備等支出計(5)		128,920,000	128,742,773	177,227	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△96,721,000	△96,544,023	△176,977	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	33,361,000	33,329,710	31,290	
	その他の活動による収入	33,000	32,115	885	
その他の活動収入計(7)		33,394,000	33,361,825	32,175	

村山苑だより

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
その他の活動による収支	支出	積立資産取崩支出	128,421,000	128,409,618	11,382
		その他の活動による支出	983,000	19,982,800	△18,999,800
		その他の活動支出計(8)	129,404,000	148,392,418	△18,988,418
	その他の活動資金収支支出差額(9)=(7)-(8)		△96,010,000	△115,030,593	19,020,593
予算支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		9,031,000	14,474,020	△5,443,020	

前期末支払資金残高(12)	821,266,617	821,266,617	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	830,297,617	835,740,637	△5,443,020

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	855,557,615	846,254,425	9,303,190
		保育事業収益	705,848,032	704,956,485	891,547
		就労支援事業収益	39,157,474	42,426,467	△3,268,993
		障害福祉サービス等事業収益	146,499,609	146,102,388	397,221
		生活保護事業収益	676,640,105	675,943,332	696,773
		医療事業収益	10,110,051	10,496,518	△386,467
		独自事業収益	597,200	373,100	224,100
		経営経費寄附金収益	5,783,240	6,085,815	△302,575
		その他の収益	2,063,060	7,034,024	△4,970,964
		サービス活動収益計(1)		2,442,256,386	2,439,672,554
サービス活動増減の部	費用	人件費	1,701,135,159	1,666,818,452	34,316,707
		事業費	331,994,207	324,858,459	7,135,748
		事務費	157,990,966	169,084,604	△11,093,638
		就労支援事業費用	40,475,821	43,783,390	△3,307,569
		利用者負担軽減額	335,555	281,971	53,584
		減価償却費	133,313,685	137,508,930	△4,195,245
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△70,456,110	△76,877,200	6,421,090
		サービス活動収益計(2)		2,294,789,283	2,265,458,606
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		147,467,103	174,213,948	△26,746,845	

村山苑だより

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	5,032,924	6,212,702	△1,179,778
	受取利息配当金収益	1,244,502	1,059,690	184,812
	その他のサービス活動外収益	15,277,010	14,886,805	390,205
	サービス活動収益計(4)	21,554,436	22,159,197	△604,761
	費用			
支払利息	5,796,335	7,056,970	△1,260,635	
その他のサービス活動外費用	12,371,905	12,323,853	48,052	
サービス活動収益計(5)	18,168,240	19,380,823	△1,212,583	
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	3,386,196	2,778,374	607,822	
経営増減差額(7)=(3)+(6)		150,853,299	176,992,322	26,139,023
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	32,198,750	31,195,410	1,003,340
	固定資産受贈額	1,502,700	424,000	1,078,700
特別収益計(8)	33,701,450	31,619,410	2,082,040	
特別増減の部	費用			
	固定資産売却損・処分損	58,829	150,195	△91,366
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△150,924	150,924
	国庫補助金等特別積立金積立額	22,687,000	20,421,000	2,266,000
特別収益計(9)	22,745,829	20,420,271	2,325,558	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	10,955,621	11,199,139	△243,518	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		161,808,920	188,191,461	△26,382,541
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,233,798,714	1,196,324,663	37,474,051
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,395,607,634	1,384,516,124	11,091,510
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	28,000,000	7,000,000	21,000,000
	その他の積立金積立額(16)	112,131,000	157,717,410	△45,586,410
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,311,476,634	1,233,798,714	77,677,920



村山苑だより

貸借対照表

平成26年3月31日現在

第5号様式

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	947,121,489	955,340,717	△8,219,228	流動負債	160,446,826	183,820,240	△23,373,414
現金預金	755,596,000	762,169,091	△6,573,091	事業未払金	43,933,351	46,291,700	△2,358,349
事業未収金	164,572,256	169,608,757	△5,036,501	その他の未払金	4,517,897	1,629,600	2,888,297
未収補助金	11,296,628	14,115,423	△2,818,795	1年以内返済予定設備資金借入金	48,076,000	48,076,000	0
貯蔵品	62,579	40,837	21,742	1年以内返済予定リース債務	862,212	862,212	0
仕掛品	116,249	142,757	△26,508	1年以内支払予定長期未払金	245,700	982,800	△737,100
立替金	100,000	100,000	0	未払費用	34,055,245	45,018,935	△10,963,690
前払金	136,560	34,980	101,580	預り金	12,974,571	14,133,607	△1,159,036
前払費用	15,139,528	8,996,757	6,142,771	職員預り金	15,781,850	26,825,386	△11,043,536
前払費用(一年基準)	1,689	32,115	△30,426	固定負債	409,236,654	447,193,478	△37,956,824
その他の流動資産	100,000	100,000	0	設備資金借入金	215,583,000	263,659,000	△48,076,000
固定資産	3,698,375,611	3,638,045,310	60,330,301	リース債務	2,078,000	2,940,218	△862,212
基本財産	1,421,336,379	1,502,838,323	△81,501,944	退職給与引当金	191,575,648	180,348,560	11,227,088
建物	1,421,336,379	1,502,838,323	△81,501,944	長期未払金	0	245,700	△245,700
その他の固定資産	2,277,039,232	2,135,206,987	141,832,245	負債の部合計	569,683,480	631,013,718	△61,330,238
建物	486,489,208	457,280,369	29,208,839	純資産の部			
構築物	14,955,934	16,051,193	△1,095,259	基本金	240,968,676	240,968,676	0
機械及び装置	1,721,753	1,701,146	20,607	第1号基本金	240,968,676	240,968,676	0
車両運搬具	10,535,328	11,836,953	△1,301,625	国庫補助金等特別積立金	1,102,709,730	1,151,077,339	△48,367,609
器具及び備品	55,122,585	53,094,819	2,027,766	その他の積立金	1,420,658,580	1,336,527,580	84,131,000
有形リース資産	1,605,038	1,996,010	△390,972	人件費積立金	191,400,000	191,400,000	0
権利	1,924,698	1,924,698	0	施設・設備整備積立金(措置)	268,070,950	238,199,950	29,871,000
ソフトウェア	2,052,680	2,574,950	△522,270	都施設・設備整備積立金	165,086,680	161,406,680	3,680,000
無形リース資産	1,335,180	1,806,420	△471,240	施設設備整備積立金	21,800,000	21,800,000	0
投資有価証券	25,000,000	25,000,000	0	人件費積立金(保育)	171,450,000	149,150,000	22,300,000
退職給付引当資産	191,575,648	180,348,560	11,227,088	保育所施設・設備整備積立金	329,637,239	301,357,239	28,280,000
人件費積立資産(措置)	191,400,000	191,400,000	0	都・市保育所施設・設備整備積立金	29,288,965	29,288,965	0
施設・設備整備積立資産(措置)	268,070,950	238,199,950	29,871,000	東村山市保育所施設・設備整備積立金	14,050,610	14,050,610	0
都施設・設備整備積立資産	165,086,680	161,406,680	3,680,000	移行時特別積立金	206,494,937	206,494,937	0

村山苑だより

資 産 の 部				純 資 産 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
施設設備整備積立資産	21,800,000	21,800,000	0	工賃変動積立金(就労)	11,015,199	11,015,199	0
人件費積立資産(保育)	171,450,000	149,150,000	22,300,000	設備等整備積立金(就労)	12,364,000	12,364,000	0
保育所施設・設備整備積立資産	329,637,239	301,357,239	28,180,000	次期繰越活動収支差額	1,311,476,634	1,233,798,714	77,677,920
都・市保育所施設・設備整備積立資産	29,288,965	29,288,965	0	(うち当期活動収支差額)	161,808,920	188,191,461	△26,382,541
東村山市保育所施設・設備整備積立資産	14,050,610	14,050,610	0				
移行時特別積立資産	206,494,937	206,494,937	0				
工賃変動積立預金(就労)	11,015,199	11,015,199	0				
設備等整備積立資産	12,364,000	12,364,000	0				
差 入 保 証 金	40,000	40,000	0				
長 期 前 払 費 用	0	1,689	△1,689				
そ の 他 の 固 定 資 産	64,022,600	45,022,600	19,000,000	純資産の部合計	4,075,813,620	3,962,372,309	113,441,311
資産の部合計	4,645,497,100	4,593,386,027	52,111,073	負債及び純資産の部合計	4,645,497,100	4,593,386,027	52,111,073

平成25年度 苦情受付状況

村 山 荘	17件
さ つ き 荘	4件
ハ ト ホ ー ム	12件
ほんちょうケアセンター	15件

福 祉 事 業 セ ン タ ー	19件
つ ぼ み 保 育 園	0件
ふ じ み 保 育 園	3件
ほんちょう保育園	9件

つぼみ保育園、ふじみ保育園では、保護者会からの要望がありそれぞれ文書で回答

各施設の詳細については、村山苑のホームページをご覧ください。


監査報告書

平成26年5月21日


社会福祉法人 村山苑

理事長 品川 卓正 殿

監事

長田 皓子 

監事

土田 士朗 

監査報告書の提出について

私たち監事は、社会福祉法第40条及び社会福祉法人村山苑定款13条並びに経理規定62条に基づき、別紙の通り監査報告書を提出致します。

以上

監査報告書

私たち監事は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度の事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人村山苑の財産の状況について監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を開覧し、各施設及び法人における業務及び財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類及び事業報告書につき検討いたしました。

さらに、村山荘、ハトホーム、さつき荘における、利用者預かり金残高と通帳その他の証憑突合及び利用者預かり金の期末残高について、残高証明書との突合を行ないました。


2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表、事業活動収支計算書及び資金収支計算書の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表、事業活動収支計算書及び資金収支計算書は、法令及び定款に従い法人の財産、事業活動及び資金収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 重要な会計方針は記載のとおりであると認めます。
- (4) 事業活動報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を示しているものと認めます。
- (5) 理事の職務遂行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (6) 利用者預かり金に関する不正な行為又は法令に違反するような事実は認められません。


平成26年5月21日

社会福祉法人 村山苑

監事

長田 皓子 

監事

土田 士朗 

村山苑だより

理事・監事・評議員

任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

理 事 長	品 川 卓 正
理 事	柿 沼 一 彦
	木 村 良 孝
	相 原 弘 子
	根 本 博 司
	伊 藤 京
	手 塚 真 一
監 事	長 田 皓 子
	土 田 士 朗
評 議 員	芦 崎 康 彦
	志 賀 寛 子
	加 治 屋 岳 志

評 議 員	小 野 寺 隆
	熊 谷 厚
	熊 澤 幸 子
	佐 々 木 義 光
	品 川 卓 正
	龍 野 力 也
	田 村 均
	當 間 義 夫
	豊 野 秀 一
	野 田 敦 子
	矢 定 時 夫
	吉 澤 豊

苦情解決第三者委員

任期 平成26年4月1日～平成27年3月31日

熊 谷 厚

野 田 敦 子

新任職員より一言

ハトホーム

介護職員 北村 若菜

初めまして。四月一日からハトホーム南館で働かせて頂いております。私は短大の時、保育士の資格が欲しくて二年間で保育士の資格を取りました。短大ではもう二年通うと保育士の他に介護の資格が取得できる専攻科がありました。小さい頃からおじいちゃんおばあちゃんが大好きで一緒に遊んでもらうことも多かったため、「介護の知識も学びたい」ともう一年勉強をすることにしました。専攻科で介護福祉士としての様々な知識や技術を学び、実習を行う中で介護の仕事に就きたいと思うようになりました。

四月から介護職員として仕事に就いてみて、実際の現場で経験する介護の難しさを感じています。一番苦戦しているのは「一人一人に合った介助・接し方について」です。入居者さんの数だけ技術や接し方ができるようにもつと努力が必要だと感じました。先輩の職員の方々は一人一人に合った支援を考えて介助を行っています。私もこれからもつと経験と技術を積み、一人一人に合った介助・接し方ができるよう、日々努

力していきたいと思えます。これからよろしく願います。

ハトホーム

介護職員 伊藤 亮太

私は福祉介護とは畑違いの仕事をしていました。一日中機械を相手に、ひたすら同じことを繰り返す作業でした。自分で決めて就いた仕事ですから嫌だとは思いませんでしたが、やりがいのようなものはあまり感じられませんでした。自分は一体何がしたいのか、自問する日々が続きました。そして、小さいころから人のためになる仕事、誰かの役に立つ仕事がしたいと考えていた自分を思い出し、人との関わり合いがある仕事がしたいと強く思うようになりしました。

村山苑の介護職員に応募し、面接の際「村山苑に入って何がしたいか」と聞かれ、「私たちがここまで育ててくれたのは、今の社会を作ってくれたお年寄りの方たちがいたからで、その方たちに恩返ししたい」と答えました。今もその気持ちに変わりはありませんが、気持ちだけが空回りすることも多く、自分の未熟さを痛感しています。四カ月たった今も分からないことだらけで戸惑う事も多くありますが、多くの方たちに支えられている事と感謝の気持ちをお忘れず、一日も早く認められる存在になるよう頑張りたいと思います。

ハトホーム

介護職員 鷹皆 佳子

この四月、ご縁があつて正規職員としてハトホーム三階に配属されました。

三月までは有期契約職員として同じく三階で三年半働かせていただいております。私は学校等で福祉や介護を学んだわけでもなく、親の介護の経験もありません。始めは「老人ホームで働く」という事に正直抵抗もありました。しかし、入居者の方々の明るさや職員の方たちに支えられ、あつという間の三年半でした。

有期契約職員のと きも無責任に仕事をしていたつもりはありませんが、正規職員になったとたん、その責任の重さを感じています。また、仕事の幅が広がったこともあり、仕事の量が増えました。今は二つの仕事を早急の確に行えるようになりたいと必死です。

勉強しなければならぬこと、覚えなければならぬことが山積していますが、幸い周りにはベテランの先輩方ばかりなので、先輩方を見習い、相談し、たくさんの経験を積みみたいと思っております。

これからも多くの出会いに感謝し、自分自身も成長していきたいと思っております。

ハトホーム

介護職員 桑木 孝子

ハトホームのデイサービスで有期契約職員として働いてきましたが、特養本体の正規職員として採用され、五月から南館に介護職員として配属されました。同じ介護職と言っても、デイサービスでは体操やレクリエーション、季節ごとの行事などご利用者の方に充実した時間を過ごしていただけるよう、様々なプログラムを考え実行することが主な仕事でした。しかし、特養本体の介護の仕事は排泄、食事、入浴介助と、今までにない仕事の流れと速さに戸惑いました。また先輩職員の方々の的確で効率的な動きに感じ、私は先輩方のように仕事が出来ようになるのかと不安で一杯でした。そんな不安も職員の方たちのご指導や入居者の方との関わり、思いなどを聞かせていただくことを通して少しずつ解消されてきました。今は私自身の介護観や介護に対する気持ちなど、改めて振り返りつつ学び、自信につなげて行けたならと思うようになりま

した。

まだまだ気持ちに余裕がない毎日ですが、入居者の方に信頼していただき、お一人お一人が穏やかに心安らぐ「居心地の良い場所」で過ごしていただけるよう努力していきたいと思っております。

どうぞよろしく願います。

ハトホーム在宅サービスセンター

介護職員 吉田 元子

四月からハトホーム在宅サービスセンターで勤務している吉田元子です。私の出身地は北海道で、四年前に東京に引っ越してきました。以前は知的障害者の更生施設で勤務し、重度の自閉症の方々・精神障害の方々の支援を行ってきました。

私は支援を行うにあたって、いつも『コミュニケーションの深さ』というものを大切に思いながら支援をしています。福祉の仕事ですからコミュニケーションはもちろん必要なのですが、それをよりいっそう深める事が大事だと考えています。様々な理由でサービスを利用される方がいらっしゃると思いますが、ご家族の方に対しては安心してご家族を預けていただけるように、利用者の方に対しては、来所する事を楽しみにしていただけるように、そんな関わりを心がけています。

まだ勤務して日が浅いので、ご家族や利用者の方との信頼関係を築くにはまだまだ時間がかかりますが、諸先輩たちの力を借りながら勉強し、職員として成長していきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。



福祉事業センター

職業指導員 伊藤 匠

これまで福祉業界とは全く違う業界で働いておりましたが、利用者の方々の『真の笑顔』が見たいという思いで福祉業界へ飛び込みました。

前職まで「モノ」を扱う仕事をしていました。モノではある課題に対して答えはひとつですが、それが福祉では「ヒト」であり、ヒトでは答えは一つではなく、どれもが正解であり、また正解のないものでもありと私は思います。それが福祉の難しさであり醍醐味でもあると思います。

職員間はもちろんのこと、利用者との職員の連携を密にし、利用者の方々の苦手とすることを、適性をみず無理解に教育や訓練などで克服するのではなく、苦手なものを補うくらいに好きなことや得意なことを強化することで、利用者の方々に笑顔を引き出したいと思っております。

まだまだ、村山苑職員として、福祉経験もなく数か月しか経っていない新人ですので、毎日が勉強の日々であります。しかし、毎日が新鮮で楽しい日々を送らせていただいております。何かと至らぬ点が多く、利用者の方々や上司、先輩職員にご迷惑を掛けてしましますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

福祉事業センター

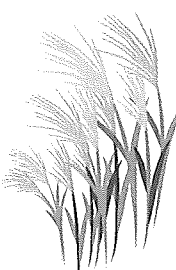
職業指導員 今井 和宏

今年度から福祉事業センターに配属となりました今井和宏と申します。私は三月まで老人ホームで高齢者の介護の仕事をしてきました。これまでの仕事と事業センターでの仕事は全く異なるもので、新しく学び、覚えることが多く、戸惑いの毎日を送っています。

けれども、高齢者の介護の仕事と事業センターでの仕事でも共通するものはあると思っています。それは、人と人が向きあう対人の仕事であり、利用者の方々の生活をより良くするためのお手伝いをする事だと考えています。

私は人が生活する上で、より良い生活を行えるように、そのために何らかの援助が必要ならば、微力ではありますが、手伝いをしてその人が一日を終えるときに、「今日も良い一日だった」「明日も頑張ろう」と思ってもらえるようになって欲しいと考え、仕事をしたいと思っています。

まだまだ、覚えることもたくさんあり、仕事で皆様にご迷惑をかけてしまうことがあるとは思いますが精一杯努力していきますのでよろしくお願い申し上げます。



つばみ保育園

保育士 西原 麻末

つばみ保育園での勤務が開始し、約四ヶ月が経ちました。四月からもう四ヶ月経ったのかと思うととても早く感じ、私自身とても驚いております。

四月から様々な新しい出会いがあり、私にとっても貴重で毎日が新鮮でした。私はつばみ保育園で二歳児の担任をさせて頂いております。毎日、先輩方から、子ども達への接し方や様々な仕事、保育士としてどのように子ども達に目を配るかなど本当にたくさん学ぶ機会をさせて頂いております。保育士としてのスキルを上げるにはそれは欠かせないことだと思っております。毎日学んだことを身に付けることができるようにこれからもっと努力をしていかなければいけないと感じています。同じ失敗をしないように意識したり、毎日振り返って自分自身評価・反省してこれからもっと成長できるように努めていきますので、よろしくお願い致します。

つばみ保育園

事務員 磯部 典子

四月よりつばみ保育園の事務をさせて頂いております。

私は、長い間事務職とは離れた仕事をしていたのですが、子どもも大きくな

り自由な時間ができたことで、若い頃にしてきた事務の仕事がしたく、この度、村山苑に就職させて頂きました。事務職と言っても経理の仕事は初めてで、また、社会福祉法人会計のような特殊な会計事務にも接したことが無かったため、戸惑うことばかりです。しかし、研修や説明会に参加させて頂いたり、園長先生を始め、先輩の方々に教えて頂き、この四ヶ月間を過ごすことができました。試用期間も終わり七月より、正職員となり、益々、責任を持つて仕事をしたいと思つておられます。日々、勉強と心がけ、速くて正確な仕事を目標したいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

ふじみ保育園
保育士 高崎 晴奈

短期大学を卒業し、保育士としてふじみ保育園に就職させて頂いたから、早いもので四ヶ月が経つてしまいました。幼い頃から夢として目指していた保育士を、一度は諦めようと決意したこともありましたが、諦めずに今こうして保育士として働けて良かったと思つています。

分らないことや失敗ばかりで、先輩方にはご迷惑をたくさんかけてしまつていますが、日々勉強になることがたくさんあり、一日一日がとても早く感じられます。

先輩方には私のために、細かいところまでご指導や相談にもつていただき、とても環境の良いところで働くことができ、幸せに思っています。

子どもとの関わりを大切にすること、子どもを理解すること、子どもを第二に考えること、それらを勉強する上でたくさんつまずくこともありましたが、先輩方に支えて見守つていただけるところで、少しずつ子どもと一緒成長することができています。

これからも日々努力を怠ることなく、子どもにも職員にも必要とされる人材になりたいと思つています。まだまだ未熟な私ですが、今後ともよろしくお願い致します。

ふじみ保育園
保育士 中山ありす

私は、十七年前にふじみ保育園を卒業した卒園生です。「保育園に通つていた頃の思い出は？」と聞かれたとき、真っ先に思い出すのは日常の些細な出来事です。友達とごっこ遊びをしたことや、自分が見たものや感じたことを先生やパートさんに「あのね…」と聞いてもらったことなど様々です。行事ももちろん好きでしたが、普段の何気ない日々を色々な人に「うんうん。それで？」と共有してもらふことに喜びを感じていました。そして、いつも温かく迎えてくれる先生たちを見て、私も保育

士になりたいと思うようになりました。村山苑への就職が決定したとき、三園ある保育園のどこに配属されるのだろうかという期待と少しの不安を抱いていました。ふじみ保育園への配属を聞いたときは、本当に夢が叶つたと思ひました。保育士になりたいと思つた始まりの場所で、今度は私が先生として子どもたちの毎日を共有することができると嬉しく思いました。

いま私は、たんぽぽクラスの担任をしています。最初は零歳児クラスということに戸惑つたこともありましたが、意思疎通ができるのかと不安を感じたこともありましたが、しかし、先輩職員の方からアドバイスをいただいたり、自分なりに考えて子どもたちと接していくなかで、戸惑いや不安も少なくなつてきたように思います。少しずつ成長している姿を見せてくれる子どもたちとの毎日がとても楽しいです。いつまでも初心を忘れずに、いつも子どもたちを温かく受け止められる保育士になりたいと思ひます。

ほんちよう保育園
保育士 田茂井雅人

私が保育士になりたかつた理由は、子どもたちが好きであること、そして私が子どもの頃にお世話になつた、やさしくて、いつも笑顔だった幼稚園の先生の姿があります。自分が保育士とな

り、子どもたち一人一人の個性を見つけたり、元氣杯な笑顔に出会える喜び、子どもたちと共に遊び、成長する姿に寄り添い見守る事ができ、毎日感謝しながら、そしてやりがいを感じ働いています。それも先輩職員の暖かいご指導のおかげだと感じ、しっかりと学ばせて頂いています。

私はほんちよう保育園に勤めるにあたり、自分の良さ、特技等を生かせる保育を目標としています。私は以前、調理師として働いていた経験があり、子どもたちにも、食材に触れたり、どんな味なのかを食べて発見したり、美味しい食べ物との出会いや、食べる事作る事の楽しさを同じように知ってもらえるような保育をしていきたいと思つています。

ほんちよう保育園では園庭で野菜を育てています。園庭で遊ぶ子どもたちは、「トマトが大きくなつていくよ。」と野菜の様子を観察したり、気にかけて、私はそんな子どもたちの姿、日々の生活の身近にある食育にとっても感動しました。

または保育園にとって男性保育士はどのような存在であるかも、今後の保育に生かしていきたいと思つています。体を使って、子どもたちにダイナミックな動きで体操を伝えたり、外の鬼ごっこでは迫力のある鬼で子どもを追いかけてドキドキ、ワクワク感を感じてもらつたり、子どもにとつての、お父さんお兄さんのように安心感が持てるよう

な存在となり、力仕事や送迎するお父さんの交流の場づくり、保育園の歯車の一部のようになれたらと思っています。最後に子どもたちと楽しい毎日が過ごせるよう、いつも明るく笑顔を大切に、保育士としての自覚を持ち、日々精進していききたいと思ひます。

ほんちよう保育園

調理員 佐藤 邦子

皆さん、初めまして。ほんちよう保育園の調理員として入職した佐藤邦子と申します。

御縁があり村山苑に入社し、あつと言う間に四ヶ月が経とうとしております。その間、私事ですが、父が亡くなりました。お世話になった、在宅ケアの看護師さんがおっしゃっていた言葉があります。「人間は、亡くなった時に、その人の人生が見えるのよ」と。

この言葉を聞き、私自身のこれからの生き方のヒントになる言葉だと感じました。

温かい同僚に囲まれながら、忙しい毎日に自分の実力が追いつかず、迷惑をかけていないか、美味しい給食を提供出来ているか、悪戦苦闘の日々が続いています。

ほんちよう保育園は、ケアセンターが併設されています。調理のお仕事は、子どもたちや利用者さんの命を預かる大切な仕事だと思ひます。アレルギー対応をはじめ、安全で美味しく、笑顔に

なれる給食を作つていきたいと思ひます。その為には、調理室でのチームワークを大切に、慌てず、穏やかに手早く対応していく様、心掛けていくつもりです。又、御縁があり、同じ職場で働いている皆さんが気持ちよく安心できる職場を作つていきたいと思ひます。

そして、子どもたちや利用者さん達から、「今日も、給食美味しかったよ」と言つてもらえる給食を作つていきたいと思ひます。その為には、努力を続ける事です。先に述べました、「充実した人生」に繋がつていくのではないかと思ひます。

まだまだ、実力不足ですがこれから一生懸命頑張つていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ほんちよう保育園

本部分出向 関下 文子

法人本部分出向事務員として会計を担当させて頂いたとき、四ヶ月が経ちました。村山苑で働き始めてから、一週間、一月がとても早く感じ、あつという間の四ヶ月でした。

異業種からの転職で初めて経験することも多く、戸惑うことや不安に思ひながらも、上司や周りの職員の方々にご指導や励ましの言葉をかけていただき、少しずつですが仕事にも慣れ、日々の業務に取り組んでおります。先日は事務研修会に参加する機会を与えていただき、普段自分が行つてい

る作業がどのようなもので、なぜその事務処理をする必要があるのかを学ぶことができ、とても勉強になりました。法人本部という場所柄、施設の利用者の皆様と接する機会はありませんが、村山苑の職員としての自覚を持ち、事務の仕事を通して利用者の方々の皆様に支えていけるよう、努力してまいります。

施設通信

ハトホーム在宅サービスセンター

施設長 星野 澄子

ハトホーム在宅サービスセンターは通所介護(デイサービス)の事業を行つております。定員は二十五名です。事業開始は古く平成九年十月一日と介護保険前からです。

現在は、東村山市の方を中心に、小平市東大和市の方にもご利用頂いております。特徴としては、広いスペースでゆったりとご利用いただけることです。このスペースを生かして、体操やゲームを中心に、ご自宅ではなかなか出来ない身体を動かすことを中心に、プログラムを組み立てています。

一日の流れは、送迎車で来所されると、まず血圧や体温測定を行い、お茶を飲みながらゆつくりしていただきます。合間に、脳トレや塗り絵など楽しんでいただきます。その後は集団体操を行います。職員のかげ声のもと、リハビリ体操

やお風呂準備体操やゴシゴシ体操など、工夫した体操を毎回輪になって楽しんでいただきます。結構身体を動かしていただけます。その後は昼食です。出来るだけ暖かいものは暖かくと、デイサービスの職員で、その場で盛り付けをしています。懐かしい昭和の歌をバックグラウンドミュージックに聴きながら、昼食後はおしゃべりをしたり、お好きな人はトランプをしたり、テーブルゲームを楽しんでいます。その後は午後のゲームの時間となります。ボーリングやパターゴルフ射的など毎回違うものを用意しています。ボールを投げたり応援で大きな声を出したりと日ごろは使わない腕の運動や集中力を磨きます。ゲームで楽しんだ後は、お茶の時間です。今年度からは飲み物をコーヒー・紅茶・お茶から選んでいただいています。やはりコーヒーが人気です。ここでもおしゃべりしながら過ごしていただいています。お帰り前にはテレビを見ながら体操をしていただく時間があります。最後に昔懐かしい昭和の歌のカラオケを何曲か歌つていただいております。もちろん個別対応の入浴やリハビリ訓練もこの中で行つております。時には夏祭りや菖蒲見学などのイベントや外出も企画しています。「今日も楽しかった。ここに来ると元気になるよ」とお帰りのときに言っていたのが何よりうれしく思っています。

見学やボランティア活動も歓迎いたします。お気軽にお立ち寄りください。

施設通信

夏祭りが盛大に開催されました!

つぼみ保育園
園長 石井 司

つぼみ保育園の夏の風物詩といえ
ばなんとと言っても夏祭りです。去る七
月十九日(土)には乳児保育園と幼
児保育園を統合してから十三回目と
なる夏祭りが開催されました。

当日はあいにくの空模様となつて
しまったため、ホールや保育室等を開
放する形での開催となりましたが、
園児や保護者の皆さんだけではなく、
日頃から何かとお世話になつており
ます地域の皆さんや卒園児のお友達
など、本当にたくさんの方々におい
ただくことができました。また開
会式には、品川理事長をはじめ、渡部
東村山市長、肥沼市議会議長、ふじ
みほんちよう保育園の園長、つぼみ保
育園の長田前園長・野田元園長もご
多忙中にもかかわらず駆けつけてく
ださいました。感謝の一言に尽きます。
オープニングは年長クラスくすの
きによる「豊年太鼓」でした。多少、
緊張した姿も見られましたが、うっ
とうしい梅雨空を吹き飛ばすかの
ような本当にすばらしい演技でした。
開会式に続いての模擬店、そして盆
踊りや保護者と職員によるソーラン
節、そして締めくくりは恒例となり

ました民族歌舞団「荒馬座」による
公演と進み、大変な盛り上がりの中、
予定時間をオーバーしてしまいまし
たが、子どもたちはもとより、保護
者・地域の皆様方の思い出に残る夏
の宵のひとつとなったのではないかと
思っています。

少し話題が変わりますが、本年三
月に発行した地域向け子育て情報
紙「こんにちは つぼみ保育園です」
にも掲載いたしました「従来に
比べて子どもの育ちが何かおかしい
のではないか、子どもを取り巻く環
境が悪化しているのではないかなど、
子どもの成長に関する懸念」が、今
様々な場を通じて議論されています。
確かに私たちの子どもの頃に比べ、
子どもの育ちをめぐる環境や子育て
環境も大きく変化してきています。
生活が便利で豊かになった代償とい
うべきでしょうか、身近な自然が減り、
地域の中での人と人との関わりも薄
れてきています。そして子どもたちの
周りには? と見渡すと、テレビや電子
ゲーム・スマホ等で二人で遊んでいる
姿が多くみられます。先の「子ども
の成長に関する懸念」は、このような
環境変化が大きな要因の一つとなつて
いるのではないかと思うのです。
そしてそのような中だからこそ、
様々な世代の方々や子どもも軸とし
て一同に集うことができるこのような
夏祭りをこれからも大切にしていき
たいものだと思っております。

家具・家電製品をお譲り下さい

あなたの使わなくなった物で社会
貢献をしてみませんか。

今この時にも生活の基盤を無くし
途方に暮れる人がいます。

そんな方々にあなたの使わなくなつ
た物が役に立ちます。

洗濯機・冷蔵庫・テレビ・電子レンジ
などが特に喜ばれています。

※物によっては、お引き受けできない物もございま
すので、まずは電話でご相談ください。

●むらやまえん生活相談所

☎042131310301(本間まで)

村山苑が経営している施設

〒1890024 東京都東村山市富士見町2-7-5

●法人本部 ☎0421399318496

●村山荘(救護施設) ☎042139911262

●ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎042139937574

●ハトホーム在宅サービスセンター ☎0421399812555

●福祉事業センター(障害福祉サービス事業) ☎0421399513636

〒1890024 東京都東村山市富士見町2-8-2

●さつき荘(救護施設) ☎0421399612244

〒1890024 東京都東村山市富士見町2-2-2

●つぼみ保育園(保育所) ☎0421399364000

〒1890024 東京都東村山市富士見町2-7-5

●ふじみ保育園(保育所) ☎04213994199936

〒1890014 東京都東村山市本町3-45-1

●ほんちよう保育園(保育所)

☎0421399921000

●ほんちようケアセンター(高齢者施設)

☎0421399921022

●むらやまえん生活相談所

☎042131310301

■あともがき■

今年台風等、雨の影響による被害が多
く報告されています。皆様の地域では如何で
しょうか。自然災害には逆らうことは出来ま
せんが、「備えあれば憂いなし」との諺もあり
ますので、万全な準備を怠ることなく取組ん
でいきましょう。(YA)

―表紙の写真―

「日光 華敵の滝」にて 提供者 Y.A

本紙は本人同意のもとに写真作品等を
掲載しております。

* * *
ご意見・感想等お気付きの点がござい
ましたら、左記へお寄せ下さい。

平成二十六年九月十五日 発行
東京都東村山市富士見町二七七一五
社会福祉法人 村山苑
発行者 品川卓正
印刷所 東京都同胞援護会事務局
東京都墨田区両国四一一八